

# 高齢者の7月末までのワクチン接種完了は難しいが、できるだけ早めたい

## 伴副市長の説明

釧路市で新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。また、高齢者施設のワクチン接種が始まりましたが、それ以外の方の接種はどうなるのか、今後の見通しについての情報はありません。

そこで共産党議員団は、5月11日、伴副市長などコロナ対応に当たっている担当者から聞き取り調査を行いました。

政府は75歳以上のワクチンの二回の接種について、7月末までに完了させると大号令をかけていますが、伴副市長は、「現在、各病院などと調整をしているところだが、7月末までの完了は難しいが、可能な限り早期に行いたい」と説明しました。

今回の調査で説明を受けた内容をお知らせします。



### ◆ワクチン接種について

問 道は各自自治体に65歳以上の方のワクチン接種が7月末までに終わるか調査をしたが、市はどう答えたのか。

答 大規模接種の確保や体制上の課題も多いことから「なかなかむずかしい」と回答した。

問 当初の接種スケジュールの見直しは考えていないのか。

答 12日締め切りで各医療機関から意向の調査をしている。これを踏まえ、ワクチンの注文を行う。様々に条件が変わってきているので、できるだけ早く接種が行えるように見直したい。

問 接種を早めるうえで課題はなにか。

答 大規模接種については会場の確保などの課題がある。7月末までに完了させるということになれば、早めに一回目の接種した人の二回目の接種と、遅いグループの一回目の接種を同時にしなければならぬ。1医療機関1日10件と考えていたが、これを20件にしなければならず、他の診療にも影響が出てしまう。

問 ワクチン接種の予約は全てコールセンターで行うことになっているが、電話がつながりにくくなるなどのトラブルは起きないのか。

答 NTTは電話が殺到した場合に、回線を制限すると言っている。ネットがつながりにくくなった例などの情報収集をしている。ワクチン量が不足しているときに一斉に申し込みを受け付けると、



回線がつながらないなども起きると思うので、十分な量が確保されていることを国はしっかりと周知して、電話が殺到することのないようにしてほしい。

問 医療機関の職員の接種はどうなっているか。  
答 市立病院は医療スタッフは終わり、あとは事務職のみになった。医療機関全体については道の所管であり、市としてはわからない。

### ◆病床の確保、PCR検査について

問 感染の急拡大で、病床はひっ迫していないか。

答 釧路・根室全体では病床数を増やしてきており、いま86床を確保していて、ひっ迫していない。市立病院は中・重症それ以外は軽症・無症状と役割分担しているが、市立にある20床はひっ迫しておらず、いまは軽症の人も入れている。市全体の入院患者数は保健所が公表していない。



問 高齢者の入所施設の職員などに、市が独自にPCR検査をすることにしたが、どこまで進んでいるか。

答 対象は5千5百人になるが、希望者は3千920人。そのうち2553人が11日までに終わった。19日までには一回目の検査は終わる予定だ。

2021. 5. 23

村上千代通信

発行 日本共産党市議団 23-5212